
ホントはあたし

岡崎 朱羽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ホントはあたし

【Nコード】

N6583E

【作者名】

岡崎 朱羽

【あらすじ】

魔法や超能力が普通な時代。オレはあたし。あたしは一流の魔女になるわ！！

プロローグ

オレは嘘つきさ。っても一つだけだな。

「なっちゃん！ご飯よー！！！」

「はあーい」オレの名前は神城^{かみしろ} 夏紀^{なつき}だ。何が嘘かって？性別さ。

オレは女なのさ。十四年間、男としてきたのに魔法が解けました。

はい、女の子ですっ。ってなんだよ！！確かに趣味は結構女の子チックだったけど…。なんでも、息子が欲しかったバカ親が性転換の魔法をかけたんだってよ。弟いるじゃん！！十四才の誕生日に魔法が解ける設定って何それ？あたしの十四年返せっての！！戸籍とかは女のままだったらしいけど。まあご飯だし食べるか。

はじまるよん（はあと）

第一話『あたしは俺』

場所は学校。オレは今、非常に困っている。だって授業体育だぜ？水泳だし。何がまずいかつて？あたしにはムスコがないのさ。長年の兄弟さ。つーか小学校の修学旅行で皆と裸の付き合いしたぜ？まだムスコが生きてたし。

「神城、どうした？」

「あ、先生…。あた、オレはちょっと…」

「親から聞いている。そうだ幻覚魔法を使ったらどうだ？」おお、流石先生 あたしのことわかってるじゃない

てなわけで泳いでいるわけだが…胸が重い…。内股になってしまつて幻覚魔法を使ってるからはたからみれば『なよなよしてキモい』的な感じである。何はともあれ授業は終わったのだが着替えだよね…うん…。だってオレ女だぜ？さらしどこで巻けつていうんだよ！あと半年ばれちゃいけないんだつてばあ…！！

「神城つてなんか可愛いよな」

「な！？」

「そうそう、ついてねえくんじゃねえの？」

「いや。小学校の修学旅行の時に確認したけどついてたぜ。」

「なくなつちまったとか？」ギク！！そりゃあ、あたし女の子だし「正直男のふりつて疲れるのよねえ」

「…」「結婚してください！！」「…」「しまった！！つて何い！！？」「ダメ！！まだ嫌！！」自分の責任とはいえ、いやあああ！！

「今日から神城は女子として通うそうだ」
「皆よろしくね」

「「「うおお!!」」」
「「「きゃあああ」」」 クラス全員が喜びの雄叫びをあげた。
いやああ!!

ども、瀬能です。

夏紀です。そういえば瀬能さんの名前も夏紀ですよ?
そうだよ。君の名前は私からとったんだよ。では、次回も読んでね

第二話『伝説の出血大サービス生理』（前書き）

お久しぶりで〜す 長らくお待たせしました〜。 って誰も待ってないよな…。

第二話『伝説の出血大サービス生理』

どうも〜神城 夏紀で〜す 早くも皆から『なっちゃん』てか『な
っちー』とか呼ばれてます。さて、今回はですね〜

『出血大サービス生理だバンザイ（泣）』なのですよ〜。じゃ、ど
うぞ。

痛い。痛すぎる。腹が痛い。今日は調子が悪いわ。なんなのよ、も
うー！もう最悪〜。とりあえず学校行かなきゃ。

ぶっ飛んで夕方〜

「パンティに血が！！なんじゃこりゃ！！ぐは」アソコから血出て
るよ血みどろ。まさか！！伝説の『生理』とやら？いやあ、あたし
も女の子だねえ

「お母さん。生理来た」

「あつそう。じゃ、今日赤飯ね」

「ダメ！！（いや、あたし赤飯嫌いなんで）」

「仕方がないなあ。とりあえず、今日はご馳走ね」

「わあい」。

さりげなく赤飯出すのやめてくれ。
テーブルの端っこに潜むお赤飯。

あれから一週間が過ぎた（この小説飛びすぎ！！）。

うう、痛い。痛すぎる。今度はどこかって？ケツだよ。あら、あた
しっからはしたないわ。オホホホ。トイレトイレ〜と

なんか。また血が出てるんですけど。あ〜あれだ。痔だよ。こっち
も血みどろ 最悪だよ…。

痔には一ヶ月悩まされた…。辛いね。ちなみに作者はなったことな
いよ。

いやあ〜久しぶりですね〜 あ、どうも瀬能 夏紀です。しばらく
の間スランプにおちいつてまして。ま、忙しいのですよ〜。何せ学
生なんで 私はね馬鹿で留年の危機に陥ってるのね。あ〜もっと勉
強してればよかった〜！！ではまた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6583e/>

ホントはあたし

2010年11月10日02時23分発行